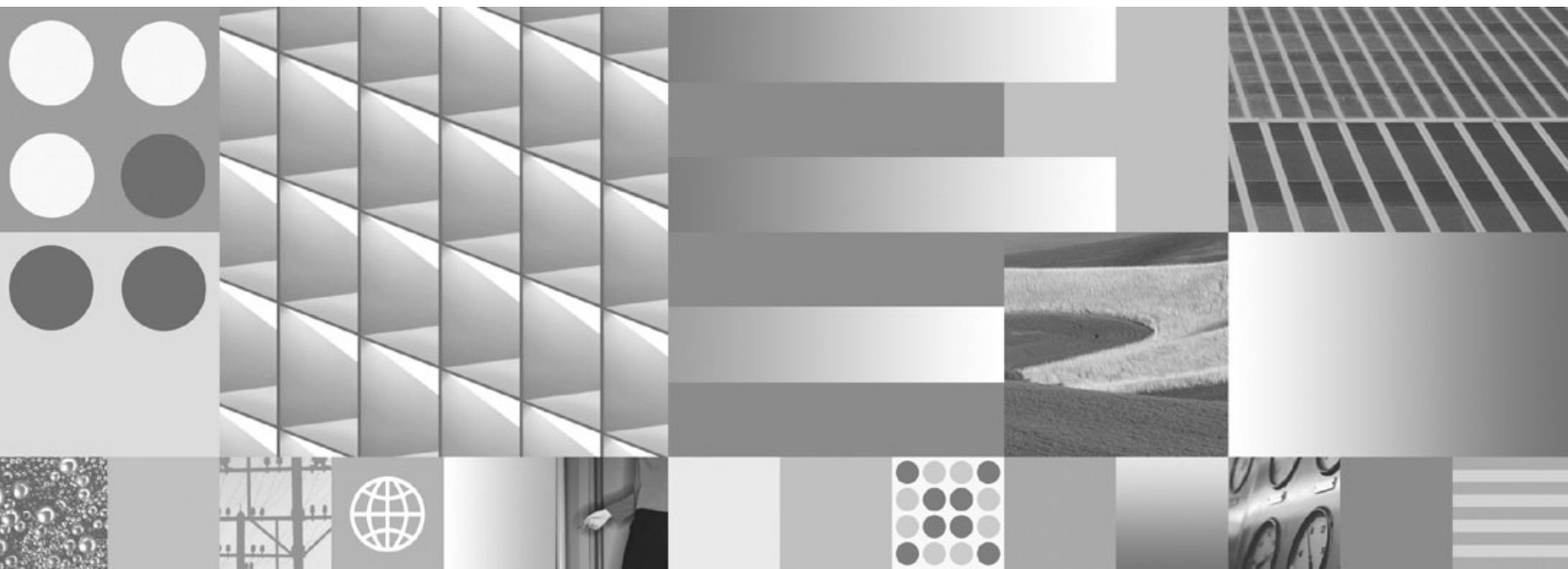


# Workplace Designer



バージョン 2.5

for Windows、Linux、AIX、Solaris、iSeries



## インストールガイド

メモ

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、15 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Workplace Designer 2.5 (製品番号 L-GHUS-6B9KPF) および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： G210-2081-00  
Workplace Designer  
Installation Guide  
Version 2.5  
for Windows、Linux、AIX、Solaris、iSeries

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2005.8

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体\*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注\* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2005. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2005

---

## 目次

### Workplace Designer のインストールへよ

うこそ . . . . .	1
システム要件 . . . . .	1
Workplace Designer を Workplace Collaboration Services サーバーとともにインストールする . . . . .	2
Workplace Designer ツールをインストールする . . . . .	3
Workplace Services Express サーバー用の Workplace Designer をインストールする . . . . .	4
Workplace Managed Client と Workplace Designer ツールをインストールする . . . . .	4
Workplace Designer ランタイムファイルを単一サーバ ー上にインストールする . . . . .	6

Workplace Designer ランタイムファイルを Network Deployment 内にインストールする . . . . .	9
Workplace Designer ランタイムサーバーの EAR フ ァイルをインストールする . . . . .	12
Workplace Collaboration Services API Toolkit をイン ストールする . . . . .	13
Workplace Designer をアンインストールする . . . . .	14

<b>付録. 特記事項. . . . .</b>	<b>15</b>
商標 . . . . .	16



---

## Workplace Designer のインストールへようこそ

IBM® Workplace™ Designer には、IBM Workplace Collaboration Services または IBM Workplace Services Express サーバー上のアプリケーションとして展開できるコンポーネントのビルド用の環境が用意されています。

Workplace Designer には 2 つの部品、ツールとランタイムファイルがあります。

Workplace Designer ツールを使用すると、Workplace Designer で用意されているサンプルのコンポーネントを探して、自分自身のコンポーネントを作成することができます。

Workplace Designer コンポーネントは、Workplace Collaboration Services または Workplace Services Express サーバー上に Workplace Designer ランタイムファイルをインストールした後で、アプリケーションとして実行することができます。まだサーバーがない場合は、Workplace Designer とともに提供される、テストの目的のみの Workplace Collaboration Services サーバーを利用できます。

完全なライセンスを購入すると、Workplace Collaboration Services 2.5.1 または Workplace Services Express 2.5 をインストールできます。IBM Workplace Collaboration Services と IBM WebSphere® Portal 用、または IBM Workplace Services Express 用の完全なライセンスがコンポーネントの実稼働環境への展開に必要です。

詳細は、Workplace Designer をインストールして開始した後で、[\[ヘルプ\]](#) → [\[ヘルプコンテンツ\]](#) をクリックしてください。

---

## システム要件

このトピックでは IBM Workplace Designer 2.5 のインストール要件について説明します。

### サーバー要件

Workplace Designer ランタイムファイルは、既存の IBM Workplace Collaboration Services 2.5.1 サーバー、または IBM Workplace Services Express 2.5 サーバー上にインストールする必要があります。

Workplace Designer ランタイムファイルを収容するコンピュータには、Workplace Collaboration Services サーバー、または Workplace Services Express サーバーに必要なディスクスペースに加えて 90 MB ディスクスペースが必要です。また、Workplace Designer のコンポーネントのテスト用に、最低 2 GB の RAM も搭載している必要があります。

Workplace Designer ランタイムファイルは、Workplace Collaboration Services 2.5.1 サーバーまたは Workplace Services Express サーバーでサポートされる Microsoft® Windows®、Linux™、IBM AIX®、Sun Solaris、および IBM iSeries™ のオペレーティングシステムと同じオペレーティングシステム上でサポートされます。

## クライアント要件

Workplace Designer ツールは、IBM Workplace Managed Client と同じコンピュータ上にインストールする必要があります。

Workplace Designer ツールと Workplace Client Technology を含むコンピュータには、0.5 GB のディスクスペースが必要です。また、最低 Intel™ Pentium® 3、800 MHz プロセッサと 512 MB の RAM が搭載されている必要があります。

Workplace Designer ツールは、IBM Workplace Managed Client でサポートされる Microsoft Windows と Linux のオペレーティングシステムと同じオペレーティングシステム上でサポートされます。

---

## Workplace Designer を Workplace Collaboration Services サーバーとともにインストールする

このセクションでは、IBM Workplace Designer を IBM Workplace Collaboration Services 2.5.1 サーバーとともにインストールするステップについて説明します。

Workplace Designer は、完全なライセンス交付を受けた Workplace Collaboration Services の実動環境でインストールできますが、Workplace Designer が提供するテストの目的のみの Workplace Collaboration Services サーバーを利用することもできます。Workplace Collaboration Services と IBM WebSphere Portal の完全なライセンスが、Workplace Designer コンポーネントの実稼働環境への展開に必要です。

Workplace Collaboration Services サーバー、HTTP サーバー、リッチクライアントのプロビジョニングサーバー、および Workplace Designer のランタイムファイルはサーバーコンピュータ上にインストールでき、また IBM Workplace Managed Client™ と Workplace Designer ツールはクライアントのコンピュータ上にインストールできます。また、すべてを 1 台のコンピュータ上にインストールすることもできます。

ステップ 1、2、3、および 5 の詳細については、<http://www.lotus.com/ldd/doc> にある IBM Workplace Collaboration Services 2.5.1 インフォメーションセンターを参照してください。

以下のステップを実行して、Workplace Designer をインストールします。

1. Workplace Collaboration Services サーバーをインストールする。
2. HTTP サーバーをインストールする。
3. リッチクライアントのプロビジョニングサーバーをインストールする。
4. 展開の状況に応じて、次のアクションの 1 つを実行します。
  - Workplace Designer ランタイムファイルを単一サーバー上にインストールする。
  - Workplace Designer ランタイムファイルを Network Deployment 内にインストールする。
5. Workplace Managed Client URL を使用して、Workplace Managed Client を Workplace Collaboration Services サーバーからインストールする。
6. Workplace Designer ツールをインストールする。

- オプション: Workplace Collaboration Services API ツールキットをインストールする。

## Workplace Designer ツールをインストールする

以下のステップを実行して、IBM Workplace Designer ツールを IBM Workplace Collaboration Services 2.5.1 サーバーが展開されている Microsoft Windows または Linux コンピュータ上にインストールします。 IBM Workplace Designer ツールをインストールする前に IBM Workplace Managed Client をインストールしておく必要があります。

- Workplace Managed Client が実行されている場合は終了させ、Workplace Designer ツールの前のバージョンがインストールされている場合は、すべてをアンインストールします。
- Web からインストールする場合は、以下のインストールディレクトリの 1 つを作成した後、Workplace Designer 用のファイルをこのディレクトリに Unzip します。(CD からインストールする場合は、ステップ 3 へ):
  - Microsoft Windows コンピュータの場合は、C:\WPLC25Install を作成します。
  - Linux コンピュータの場合は、/opt/IBM/Workplace/WPLC25Install を作成します。
- 以下のステップの 1 つを行い、Workplace Designer ツールのインストールプログラムを実行します。
  - CD からインストールする場合は、IBM Workplace Designer ツール v2.5 Multiplatform Multilingual CD をクライアントのコンピュータに挿入し、¥Client ディレクトリにナビゲートした後、DesignerClientSetupWin32.exe (Windows) または DesignerClientSetupLinux.bin (Linux) を実行します。
  - Web からインストールする場合は、C:\WPLC25Install¥Client (Windows) にナビゲートした後、DesignerClientSetupWin32.exe を実行するか、または /opt/IBM/Workplace/WPLC25Install/Client (Linux) にナビゲートした後、./DesignerClientSetupLinux.bin を実行します。
- [このウィザードで使用する言語の選択] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。
- [IBM Workplace Designer ランタイム・インストーラー] ダイアログボックスで、[次へ] をクリックします。
- 使用許諾契約書ダイアログボックスで [使用許諾契約書に記載された条件に同意します] にチェックをつけた後、[次へ] をクリックします。
- Workplace Managed Client の場所の情報が正しいことを確認した後、[次へ] をクリックします。
- Workplace Designer の場所に関してデフォルトを受け入れた後、[次へ] をクリックします。
- [要約] ダイアログボックスで情報を確認した後、[次へ] をクリックします。
- [成功] ダイアログボックスで [完了] をクリックします。
- 次のタスクの 1 つを実行し、Workplace Designer を開始します。
  - Windows の場合はデスクトップ上で、[IBM Workplace Designer] アイコンをダブルクリックします。

- Linux の場合は、Workplace Managed Client を開始した後、[ツール] → [IBM Workplace Designer の起動] をクリックします。

---

## Workplace Services Express サーバー用の Workplace Designer をインストールする

このセクションでは、IBM Workplace Designer を IBM Workplace Services Express 2.5 サーバーとともにインストールするステップについて説明します。

Workplace Services Express 2.5 サーバーのライセンス交付を受けたコピーと関連するインストール手順へのアクセス権が必要です。

Workplace Services Express サーバー、HTTP サーバー、および Workplace Designer のランタイムファイルは、サーバーコンピュータ上にインストールでき、また IBM Workplace Managed Client と Workplace Designer ツールはクライアントのコンピュータ上にインストールできます。また、すべてを 1 台のコンピュータ上にインストールすることもできます。

Workplace Services Express 2.5 のインストールの詳細については、<http://www.lotus.com/products/product5.nsf/wdocs/productdoc> を参照してください。HTTP サーバーのインストールの詳細については、<http://www.lotus.com/idd/notesua.nsf> にある IBM Workplace Collaboration Services 2.5.1 インフォメーションセンターを参照してください。

以下のステップを実行して、Workplace Designer をインストールします。

1. Workplace Services Express 2.5 サーバーをインストールする。
2. HTTP サーバーをインストールする。
3. Workplace Designer ランタイムファイルをインストールする。
4. Workplace Managed Client と Workplace Designer ツールをインストールする。
5. オプション: Workplace Collaboration Services API ツールキットをインストールする。

## Workplace Managed Client と Workplace Designer ツールをインストールする

以下のステップを実行して、IBM Workplace Managed Client と IBM Workplace Designer ツールを IBM Workplace Services Express 2.5 サーバーが展開されている Microsoft Windows または Linux コンピュータ上にインストールします。Workplace Managed Client は、Workplace Designer とともに提供されます。

1. Workplace Designer ツールの前のバージョンがインストールされている場合は、すべてアンインストールします。
2. Web からインストールする場合は、以下のインストールディレクトリの 1 つを作成した後、Workplace Designer 用のファイルをこのディレクトリに Unzip します。(CD からインストールする場合は、ステップ 3 へ):
  - Microsoft Windows コンピュータの場合は、C:\WPLC25Install を作成します。

- Linux コンピュータの場合は、/opt/IBM/Workplace/WPLC25Install を作成します。
3. 以下のアクションを行って、Workplace Managed Client と Workplace Designer ツールのインストールプログラムを実行します。
    - CD からインストールする場合は、IBM Workplace Designer ツール v2.5 Multiplatform Multilingual CD をクライアントのコンピュータに挿入し、¥WMC25 ディレクトリにナビゲートした後、setup\_wct\_platform.exe (Windows) または ./setup\_wct\_platform.bin (Linux) を実行します。
    - Web からインストールする場合は、C:¥WPLC25Install¥WMC25 (Windows) にナビゲートした後、setup\_wct\_platform.exe を実行するか、または /opt/IBM/Workplace/WPLC25Install/WMC25 (Linux) にナビゲートした後、./setup\_wct\_platform.bin を実行します。
  4. **[IBM Workplace リッチクライアントへようこそ]** ダイアログボックスで、**[次へ]** をクリックします。
  5. 使用許諾契約書ダイアログボックスで **[使用許諾契約書に記載された条件に同意します]** にチェックをつけた後、**[次へ]** をクリックします。
  6. Workplace Managed Client の場所にディレクトリを指定した後、**[次へ]** をクリックします。
  7. **[要約]** ダイアログボックスで情報を確認した後、**[次へ]** をクリックします。
  8. **[成功]** ダイアログボックスで **[次へ]** をクリックします。
  9. Workplace Managed Client ログイン画面が開いたら、ユーザー名、パスワード、および Workplace Services Express サーバーのホスト名を入力してログインした後、**[次へ]** をクリックします。
  10. **[プロビジョニングサーバー URL]** ダイアログボックスの **[キャンセル]** をクリックします。Workplace Managed Client が起動します。
  11. **[ファイル]** → **[終了]** をクリックし、Workplace Managed Client を終了します。
  12. Workplace Designer のアイコンをデスクトップ上に作成するには、以下のステップを実行します。
    - a. デスクトップ上の **IBM Workplace** アイコンを右クリックした後、**[ショートカットの作成]** を選択します。
    - b. デスクトップ上の **[IBM Workplace (2)]** アイコンを右クリックして **[名前の変更]** を選択した後、IBM Workplace Designer と入力します。
    - c. **[IBM Workplace Designer]** アイコンを右クリックした後、**[プロパティ]** を選択します。
    - d. **[リンク先]** フィールドで、ターゲットを "-personality com.ibm.workplace.personality" から "-personality com.ibm.workplace.des.ide.personality" に変更した後、**[OK]** をクリックします。
  13. デスクトップ上の **[IBM Workplace Designer]** アイコンをダブルクリックすると、Workplace Designer が起動します。

## Workplace Designer ランタイムファイルを単一サーバー上にインストールする

IBM Workplace Designer ランタイムファイルは、IBM Workplace Collaboration Services 2.5.1 サーバー、または IBM Workplace Services Express 2.5 サーバーが既にインストールされているコンピュータにインストールする必要があります。

1. Workplace サーバーが実行されている場合は、コマンドウィンドウを開き、以下のアクションを実行してシャットダウンします。

オペレーティングシステム	アクション
Microsoft Windows	<ol style="list-style-type: none"><li>1. %[WSE_HOME] または [WCS_HOME] %PortalServer%rootscripts%subtasks% (例: C:%WebSphere%PortalServer%rootscripts%subtasks%) にナビゲートした後、次のコマンドを実行します。 stopPortalServer.bat -username [administrator_username] -password [administrator_password]</li><li>2. 同じディレクトリで stopWorkplaceServices.bat を実行します。</li></ol>
Linux, IBM AIX, Sun Solaris	<ol style="list-style-type: none"><li>1. /[WSE_HOME] または [WCS_HOME] /PortalServer/rootscripts/subtasks/ (例: opt/IBM/Workplace/PortalServer/rootscripts/subtasks/) にナビゲートした後、次のコマンドを実行します。 ./stopPortalServer.sh -username [administrator_username] -password [administrator_password]</li><li>2. 同じディレクトリで ./stopWorkplaceServices.sh を実行します。</li></ol>
IBM iSeries	<ol style="list-style-type: none"><li>1. /[WSE_HOME] または [WCS_HOME] /PortalServer/rootscripts/subtasks/ (例: /QIBM/UserData/WebAS5/Base/&lt;Instance&gt;/ PortalServer/rootscripts/subtasks/) にナビゲートした後、次のコマンドを実行します。 ./stopPortalServer.sh -username [administrator_username] -password [administrator_password]</li><li>2. 同じディレクトリで ./stopWorkplaceServices.sh を実行します。</li></ol>

2. Web からインストールする場合は、WPLC25Install ディレクトリ (例: Microsoft Windows では C:%WPLC25Install) を作成した後、Workplace Designer 用のファイルをこのディレクトリに Unzip します。(CD からインストールする場合は、ステップ 3 へ):
3. 以下のアクションを実行して、Workplace Designer ランタイムのインストールプログラムを実行します。

オペレーティングシステム	アクション
Microsoft Windows	<p>次のアクションの 1 つを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CD からインストールする場合は、IBM Workplace Designer Runtime v2.5 Multiplatform Multilingual CD を挿入し、¥Server ディレクトリにナビゲートした後、DesignerServerSetupWin32.exe を実行します。</li> <li>• Web からインストールする場合は、C:¥WPLC25Install¥Server にナビゲートした後 DesignerServerSetupWin32.exe を実行します。</li> </ul>
Linux	<p>次のアクションの 1 つを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CD からインストールする場合は、IBM Workplace Designer Runtime v2.5 Multiplatform Multilingual CD を挿入し、/Server ディレクトリにナビゲートした後、./DesignerServerSetupLinux.bin を実行します。</li> <li>• Web からインストールする場合は、/[WSE_HOME] または [WCS_HOME] /WPLC25Install/Server にナビゲートした後 ./DesignerServerSetupLinux.bin を実行します。</li> </ul>
IBM AIX	<p>次のアクションの 1 つを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CD からインストールする場合は、IBM Workplace Designer Runtime v2.5 Multiplatform Multilingual CD を挿入し、/Server ディレクトリにナビゲートした後、./DesignerServerSetupAIX.bin を実行します。</li> <li>• Web からインストールする場合は、/[WSE_HOME] または [WCS_HOME] /WPLC25Install/Server にナビゲートした後 ./DesignerServerSetupAIX.bin を実行します。</li> </ul>
Sun Solaris	<p>次のアクションの 1 つを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CD からインストールする場合は、IBM Workplace Designer Runtime v2.5 Multiplatform Multilingual CD を挿入し、/Server ディレクトリにナビゲートした後、./DesignerServerSetupSolarisSparc.bin を実行します。</li> <li>• Web からインストールする場合は、/[WSE_HOME] または [WCS_HOME] /WPLC25Install/Server にナビゲートした後 ./DesignerServerSetupSolarisSparc.bin を実行します。</li> </ul>

オペレーティングシステム	アクション
IBM iSeries	<p>次のアクションの 1 つを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CD からインストールする場合は、IBM Workplace Designer Runtime v2.5 Multiplatform Multilingual CD を挿入し、¥Server ディレクトリにナビゲートして <code>java -cp ¥DesignerServerSetup.jar run -os400</code>、または <code>¥install400.bat</code> を実行します。次に、ダイアログボックスにコンピュータのホスト名、管理者名、およびパスワードを入力します。</li> <li>• Web からインストールする場合は、Windows マシン上のコマンドプロンプトを開き、<code>C:¥WPLC25Install¥Server</code> にナビゲートして <code>java -cp ¥DesignerServerSetup.jar run -os400</code>、または <code>¥install400.bat</code> を実行します。次に、ダイアログボックスにコンピュータのホスト名、管理者名、およびパスワードを入力します。</li> </ul>

4. [このウィザードで使用する言語の選択] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。
5. [IBM Workplace Designer ランタイム・インストーラー] ダイアログボックスで、[次へ] をクリックします。
6. 使用許諾契約書ダイアログボックスで [使用許諾契約書に記載された条件に同意します] にチェックをつけた後、[次へ] をクリックします。
7. Workplace Collaboration Services サーバーの場所 (Workplace Collaboration Services または Workplace Services Express サーバー) に関してはデフォルトのセル名とノード名のままにし、管理者のユーザー名とパスワードを入力した後、[次へ] をクリックします。
8. Workplace Designer のランタイムディレクトリの場所に関してデフォルトを受け入れた後、[次へ] をクリックします。
9. [要約] ダイアログボックスで情報を確認した後、[次へ] をクリックします。
10. [成功] ダイアログボックスで [完了] をクリックします。
11. コマンドウィンドウを開いた後、以下のアクションを実行して Workplace サーバーを開始します。これには、最大 15 分かかる場合があります。

オペレーティングシステム	アクション
Microsoft Windows	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ¥[WSE_HOME] または [WCS_HOME] ¥PortalServer¥rootscripts¥subtasks¥ にナビゲートした後、<code>startNetworkServer.bat</code> を実行します。</li> <li>2. 同じディレクトリで <code>startPortalServer.bat</code> を実行します。</li> </ol>
Linux, IBM AIX, Sun Solaris	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. /[WSE_HOME] または [WCS_HOME] /PortalServer/rootscripts/subtasks/ にナビゲートした後、<code>./startNetworkServer.sh</code> を実行します。</li> <li>2. 同じディレクトリで <code>./startPortalServer.sh</code> を実行します。</li> </ol>

オペレーティングシステム	アクション
IBM iSeries	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. IBM Workplace Designer EAR ファイルをインストールします。</li> <li>2. /[WSE_HOME] または [WCS_HOME] /PortalServer/rootscripts/subtasks にナビゲートした後、./startNetworkServer.sh を実行します。</li> <li>3. 同じディレクトリで ./startPortalServer.sh を実行します。</li> </ol>

12. 以下のステップを実行して IBM Workplace Designer ランタイムの EAR ファイルが正しくインストールされていることを確認します。
  - a. IBM WebSphere Application Server 管理コンソール (<http://<full.dns.hostname>:9091/admin>) に管理者としてログインします。
  - b. [アプリケーション] → [エンタープライズ・アプリケーション] をクリックして、LWP\_Designer\_Runtime の展開が完了したかを確認します。アプリケーションがまだ開始されていない場合は、LWP\_Designer\_Runtime の隣にあるチェックボックスをクリックした後、ページの先頭の [開始] ボタンをクリックしてください。
  - c. [Lotus Workplace] → [ライセンス] をクリックし、Workplace Designer ライセンスがあることを確認します。

ヒント: Workplace Designer 製品ディレクトリにある installlog5.txt ファイルを参照して、インストールのエラーのトラブルシューティングを行ってください。

---

## Workplace Designer ランタイムファイルを Network Deployment 内にインストールする

以下のステップに進む前に、IBM Workplace Collaboration Services 2.5.1 Network Deployment をインストールしておく必要があります。IBM Workplace Designer ランタイムファイルは、Workplace サーバーと同じマシン上に展開されている各ノード上にインストールする必要があります。

注: Workplace Designer とともに提供される Workplace Collaboration Services サーバーは、テストの目的でのみ使用できます。これらのサーバーからは Network Deployment を作成できず、また既存の Network Deployment に追加することもできません。Network Deployment 内に、完全なライセンス交付を受けている Workplace サーバーが必要です。Workplace Collaboration Services 2.5.1 Network Deployment の詳細については、<http://www.lotus.com/idd/doc> にある IBM Workplace Collaboration Services 2.5.1 インフォメーションセンターを参照してください。

1. Deployment Manager コンピュータ上の IBM WebSphere 管理コンソールにログインして、展開されている各ノード上のすべてのサーバーを停止した後、Deployment Manager サーバーを停止します。
2. 以下のステップを実行して Workplace Designer ランタイムファイルを展開している各ノード上にインストールします。

- a. Web からインストールする場合は、WPLC25Install ディレクトリ (例: Microsoft Windows では C:¥WPLC25Install) を作成した後、Workplace Designer 用のファイルをこのディレクトリに Unzip します。(CD からインストールする場合は、ステップ b へ):
- b. 以下のアクションを実行して、Workplace Designer ランタイムのインストールプログラムを実行します。

オペレーティングシステム	アクション
Microsoft Windows	<p>次のアクションの 1 つを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CD からインストールする場合は、IBM Workplace Designer Runtime v2.5 Multiplatform Multilingual CD を挿入し、¥Server ディレクトリにナビゲートし DesignerServerSetupWin32.exe を実行します。</li> <li>• Web からインストールする場合は、C:¥WPLC25Install¥Server にナビゲートした後 DesignerServerSetupWin32.exe を実行します。</li> </ul>
Linux	<p>次のアクションの 1 つを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CD からインストールする場合は、IBM Workplace Designer Runtime v2.5 Multiplatform Multilingual CD を挿入し、/Server ディレクトリにナビゲートし ./DesignerServerSetupLinux.bin を実行します。</li> <li>• Web からインストールする場合は、/[WSE_HOME] または [WCS_HOME] /WPLC25Install/Server にナビゲートした後 ./DesignerServerSetupLinux.bin を実行します。</li> </ul>
IBM AIX、Sun Solaris	<p>次のアクションの 1 つを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CD からインストールする場合は、IBM Workplace Designer Runtime v2.5 Multiplatform Multilingual CD を挿入し、/Server ディレクトリにナビゲートし ./DesignerServerSetupAIX.bin または ./DesignerServerSetupSolarisSparc.bin を実行します。</li> <li>• Web からインストールする場合は、/[WSE_HOME] または [WCS_HOME] /WPLC25Install/Server にナビゲートした後 ./DesignerServerSetupAIX.bin または ./DesignerServerSetupSolarisSparc.bin を実行します。</li> </ul>
IBM iSeries	<p>次のアクションの 1 つを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CD からインストールする場合は、IBM Workplace Designer Runtime v2.5 Multiplatform Multilingual CD を挿入し、¥Server ディレクトリにナビゲートして java -cp ¥DesignerServerSetup.jar run -os400、または ¥install400.bat を実行します。次に、ダイアログボックスにコンピュータのホスト名、管理者名、およびパスワードを入力します。</li> <li>• Web からインストールする場合は、Windows マシン上のコマンドプロンプトを開き、C:¥WPLC25Install¥Server にナビゲートして java -cp ¥DesignerServerSetup.jar run -os400、または ¥install400.bat を実行します。次に、ダイアログボックスにコンピュータのホスト名、管理者名、およびパスワードを入力します。</li> </ul>

- c. [このウィザードで使用する言語の選択] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。
- d. [IBM Workplace Designer ランタイム・インストーラー] ダイアログボックスで、[次へ] をクリックします。
- e. 使用許諾契約書ダイアログボックスで [使用許諾契約書に記載された条件に同意します] にチェックをつけた後、[次へ] をクリックします。
- f. Workplace Collaboration Services サーバーにコンピュータのセルとノード名を入力します。管理者のユーザー名とパスワードの各フィールドは、空白のままにしておきます。サーバーのセル名とノード名は通常マシン名と同じで、次のパスで見つけられます。

オペレーティングシステム	パス
Microsoft Windows	[WSE_HOME] または [WCS_HOME] /AppServer/config/cells/[cell_name] /nodes/[node_name]
Linux、IBM AIX、Sun Solaris	[WSE_HOME] または [WCS_HOME] /AppServer/config/cells/[cell_name] /nodes/[node_name]
IBM iSeries	[WSE_HOME] または [WCS_HOME] /config/cells/[cell_name] /nodes/[node_name]

- g. Workplace Designer のランタイムディレクトリの場所に関してデフォルトを受け入れた後、[次へ] をクリックします。
  - h. [要約] ダイアログボックスで情報を確認した後、[次へ] をクリックします。
  - i. [成功] ダイアログボックスで [完了] をクリックします。
3. 展開されている最初のノードから以下のファイルを Deployment Manager コンピュータ上の [DM\_HOME]/config/cells/[cell-name]/ ディレクトリへコピーします。
- [WCS\_HOME]/AppServer/config/cells/[cell-name]/lwpllicense.xml
  - [WCS\_HOME]/AppServer/config/cells/[cell-name]/lwpllicense.xml.bak

注: [DM\_HOME] は Deployment Manager がインストールされるディレクトリで、例えば /opt/WebSphere/DeploymentManager です。[WCS\_HOME] は、Workplace Collaboration Services サーバーがインストールされるディレクトリで、例えば /opt/IBM/Workplace です。

4. 展開されているすべてのノードから以下のファイルを Deployment Manager コンピュータ上の [DM\_HOME]/config/cells/[cell-name]/nodes/[node-name]/ ディレクトリへコピーします。
- [WCS\_HOME]/AppServer/config/cells/[cell-name]/nodes/[node-name]/libraries.xml
  - [WCS\_HOME]/AppServer/config/cells/[cell-name]/nodes/[node-name]/libraries.xml.bak

注: [DM\_HOME] は Deployment Manager がインストールされるディレクトリで、例えば /opt/WebSphere/DeploymentManager です。[WCS\_HOME] は、Workplace Collaboration Services サーバーがインストールされるディレクトリで、例えば /opt/IBM/Workplace です。

5. Deployment Manager を再起動した後、Deployment Manager コンピュータ上の WebSphere 管理コンソールにログインして、展開されているすべてのノード上のすべてのサーバーを再起動します。
6. いずれか 1 つのノード上の [install\_directory]/WorkplaceServer/Designer/lib ディレクトリから designer.runtime.ear ファイルを Deployment Manager コンピュータ上の一時ディレクトリにコピーします。
7. Deployment Manager コンピュータ上の WebSphere 管理コンソールから、ステップ 6 でコピーした「EAR ファイルのインストール」を実行します。

---

## Workplace Designer ランタイムサーバーの EAR ファイルをインストールする

以下のステップを実行して IBM Workplace Designer ランタイムの EAR ファイルをインストールします。このステップは、iSeries サーバー上、または IBM Workplace Collaboration Services Network Deployment 内の Deployment Manager コンピュータ上に Workplace Designer ランタイムファイルをインストールする場合に必要です。

1. `http://[full.dns.hostname]:9091/admin` にある IBM WebSphere Application Server の管理コンソールにナビゲートし、管理者としてログインします。
2. 左側のパネルの [アプリケーション] → [新規アプリケーションのインストール] をクリックします。
3. [アプリケーション・インストールの準備] 画面の [パス] セクションで `/opt/IBM/Workplace/WorkplaceServer/Designer/lib` ディレクトリを開いて **designer.runtime.ear** を選択します。次に [次へ] をクリックします。
4. [デフォルト・バインディングの生成] 画面で [次へ] をクリックします。
5. [ステップ 1: インストールを行うためのオプションの提供] 画面で、[デプロイ EJB] がチェックされていないことを確認して [次へ] をクリックします。
6. [ステップ 2: Bean の JNDI 名を提供] 画面で、[次へ] をクリックします。
7. [ステップ 3: Web モジュールの仮想ホストをマップ] 画面で [Web モジュール] にチェックを付けた後 [次へ] をクリックします。
8. [ステップ 4: モジュールをアプリケーション・サーバーにマップ] 画面で、以下のステップの 1 つを実行してください。
  - iSeries サーバーにインストールする場合は、[クラスタおよびサーバー] リストから [WebSphere\_Portal サーバー] を選択し、[モジュール] チェックボックスにチェックを付けてすべてのモジュールを選択した後、[適用] をクリックします。[モジュール] チェックボックスにチェックを付け、再度すべてのモジュールを選択した後、[次へ] をクリックします。
  - Network Deployment 内の Deployment Manager コンピュータ上にインストールする場合は、[クラスタおよびサーバー] リストからクラスタを選択し、[モジュール] チェックボックスにチェックを付けてすべてのモジュールを選択した後、[適用] をクリックします。[モジュール] チェックボックスにチェックを付け、再度すべてのモジュールを選択した後、[次へ] をクリックします。

9. [ステップ 5: セキュリティー役割をユーザー/グループにマップ] 画面で、[ロール] の下にある [lwpUser] チェックボックスにチェックを付けた後、[次へ] をクリックします。
10. [ステップ 6: 要約] 画面で、[完了] をクリックします。
11. 結果表示画面で「アプリケーション LWP\_Designer\_Runtime は正常にインストールされました。」というメッセージが表示されたら、[マスター構成に保管] をクリックします。
12. [マスター構成に保管] 画面で、[保存] ボタンをクリックします。これにより WebSphere 管理コンソールのホームページに戻ります。
13. [アプリケーション] → [エンタープライズ・アプリケーション] をクリックして、LWP\_Designer\_Runtime の展開が完了したかを確認します。アプリケーションがまだ開始されていない場合は、アプリケーション名の隣にあるチェックボックスをクリックした後、ページの先頭の [開始] ボタンをクリックしてください。

---

## Workplace Collaboration Services API Toolkit をインストールする

IBM Workplace Collaboration Services API Toolkit によって、開発者は J2EE プログラミングモデルを使用して、IBM Workplace Collaboration Services プラットフォームを新規のビジネスコンポーネント、ポートレット、およびその他のコンポーネントで拡張できます。このツールキットでは、お客様のアプリケーションが利用できる公開 API (アプリケーションプログラミングインターフェース) と公開 SPI (サービスプロバイダーインターフェース) が提供されます。また IBM Workplace の公開 API は、その基礎となる IBM WebSphere と IBM WebSphere Portal プラットフォーム (このツールキットには含まれていません) によって提供される公開 API を補完します。

Workplace Collaboration Services API Toolkit を IBM Workplace Designer とともに使用するには、ツールキットのダウンロードと Unzip を行った後、ランタイムファイルをインストールして Javadoc ファイルを移動します。

1. ブラウザを使用して <http://www.lotus.com/ldd/lwpapi> にナビゲートし、指示に従ってツールキットの ZIP ファイルを Workplace Collaboration Services サーバー上のディレクトリへダウンロードします。
2. ツールキットの ZIP ファイルを Unzip します。ファイルを Unzip したディレクトリのサブディレクトリとして ¥lwpapi251 というディレクトリが作成されません。
3. IBM Workplace Collaboration Services サーバー上にツールキットのランタイムファイルをインストールします。詳しくは、<http://www.lotus.com/ldd/notesua.nsf/find/lwpapi> にある Workplace Collaboration Services 2.5.1 用の『IBM Workplace Collaboration Services API Toolkit User's Guid』の第1章のトピック「Installing the IBM Workplace Collaboration Services API Toolkit runtime files on the IBM Workplace Serve」を参照してください。

ツールキットをインストールすると、Workplace Designer ヘルプ内の Workplace クラス用の Javadoc 内で API Javadoc が使用可能になります。Workplace Designer ヘルプを開くには、Workplace Designer を開き [ヘルプ] → [ヘルプコンテンツ] をクリックします。

---

## Workplace Designer をアンインストールする

以下のアクションの 1 つを実行して、IBM Workplace Designer ツール、または IBM Workplace Designer ランタイムファイルをアンインストールします。

オペレーティングシステム	アクション
Microsoft Windows	[スタート] → [設定] → [コントロール パネル] → [プログラムの追加と削除] をクリックし、Workplace Designer を削除します。
Linux、IBM AIX、Sun Solaris、IBM iSeries	[WD_install]/_uninst にナビゲートした後、uninstaller.bin を実行します。 注: [WD_install] は、Workplace Designer インストールディレクトリを指しています (例: /WPLC25Install)。

---

## 付録. 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-0032  
東京都港区六本木 3-2-31  
IBM World Trade Asia Corporation  
Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

〒106-0032  
東京都港区六本木 3-2-31  
IBM World Trade Asia Corporation  
Licensing

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

---

## 商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

IBM  
Workplace  
WebSphere  
iSeries  
AIX  
Managed Client

Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。





部品番号: D5592LL  
プログラム番号: 5724-L64

Printed in Japan

GB88-8686-00



日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12

(1P) P/N: D5592LL

